

由布市学力向上アクションプラン

由布市では、平成25年度から27年度までの3年間、小・中学校の学力向上に向けた目標・および行動計画を設定しました。

平成25年度の結果が出ましたのでご報告するとともに、平成26年度の新たな指標をお示しします。また、平成26年度末には、取組の中間総括を行う予定です。

1. 学力の現状

平成25年度 全国学力学習状況調査 小6・中3対象

教科	小6・国		小6・算		中3・国		中3・数	
	A知識	B活用	A知識	B活用	A知識	B活用	A知識	B活用
由布市	60.5	48.4	81.3	58.1	73.9	63.8	62.1	37.8
大分県	62.3	48.7	78.7	57.8	76.0	66.7	62.0	39.2
全国	62.7	49.4	77.2	58.4	76.2	67.4	63.7	41.5

平成25年度 大分県の学力定着状況調査 小5・中2対象

教科	小5・国		小5・算		中2・国		中2・数	
	基礎	応用	基礎	応用	基礎	応用	基礎	応用
市偏差値	47.6	47.7	48.4	48.5	50.6	50.3	50.0	49.4
県偏差値	51.4	50.2	52.0	51.7	50.5	49.9	50.8	50.3
正答率	65.8	47.4	68.7	46.4	70.9	56.6	63.7	36.7
大分県	73.5	53.9	75.7	55.2	70.5	55.7	65.6	39.4
達成率	50.9	41.9	57.0	34.3	67.2	47.8	56.9	44.2
大分県	69.6	52.7	72.6	49.2	65.9	49.0	59.8	47.7

- 小学校5年は国語・算数とも厳しい結果でした。
- 小学校6年は国語で苦しんだものの、算数ではすばらしい成果をあげました。習熟度別・少人数の取組が良かったと考えます。
- 中学校2年は、数学の応用を除いておおむね良い結果でした。
- 中学校3年は、国語は良かったものの、数学で厳しい結果となっています。
- ◎各学年とも、この結果を受けて補充学習に取り組んでいるところです。特に、県と比較したときに、達成率の低さが目につきます。理解の遅い子どもたちの支援にどう取り組むかが喫緊の課題です。

2. 平成26年度の目標及び行動計画

目標

- 全国調査・県調査において平均以上をめざします。
特に、国語の学力を向上させます。
- 低学力層の児童・生徒を半減させます。

目標達成のための行動計画

- 授業改善の取組を進めます。
「付きたい力を明らかにした授業をしていきます。」
 - ①学力向上支援教員を配置し、国語と算数の授業モデルを提示します。
 - ②授業モデルに沿った授業の研究会を行います。
 - ③授業モデルに沿った授業が行われているか、授業観察を行います。
- 習熟度別の授業を取り入れます。
「個に応じた授業をしていきます。」
 - ①習熟度別指導推進教員を配置し、市全体の取組を進めます。
 - ②規模の大きな学校には、指導法工夫改善教員等を配置し、算数・数学で習熟度別の授業を行います。
 - ③習熟度別の授業の教材を研究します。
- 学力調査を活かした補充学習を行います。
「学習の定着を図ります。」
 - ①補充学習の教材や実施方法の研究を行います。
 - ②放課後子ども教室による補充学習を行います。
 - ③夏季休業中にステップアップ講座を行います。
- 小・中で連携した家庭学習の取組を行います。
「共通した家庭学習の取組を行います。」
 - ①小中連携をもとにした由布市版家庭学習の手引きの作成とその使用法を研究します。

3. スケジュール（行程表）

平成25年度	平成26年度	平成27年度
市町村「学力向上アクションプラン」の公表、学校「学校の教育目標」の公表→H26からは達成状況も公表		
第1回 教務主任会議 市町村学力向上アクションプランの周知 教務主任の職務内容理解		
全国調査、県調査、市町村独自調査の実施及び分析(全教員による調査問題の確認)		
学力向上支援教員・指導法工夫改善加配教員合同協議会(月1回程度) * 個別開催もあり		
由布市学力向上会議(年3回程度開催) 由布市全市集会(夏季休業中+冬期休業中)→H26から		
第1回 学力向上会議 特に家庭学習の充実を由布市の共通テーマにする		
夏休みステップアップ講座		
全国調査、県調査、市町村独自調査の結果公表及び学力向上アクションプランの修正		
第2回 教務主任会議 市町村学力向上アクションプランの進捗状況を検証 教務主任の職務の情報交換		
校長による授業観察強化月間(年2回) * 学力向上支援教員・指導法工夫改善加配教員との連携		
教育相談活動 個別支援(指導主事・学力向上支援教員・指導法工夫改善加配)		
学校図書館を活用した授業推進月間		
市独自の調査の実施(小学校3~6年 中学校1~2年) * 学年末フォローアップキャンペーンへのつなぎ		
第3回 教務主任会議 市町村学力向上アクションプランの達成状況を検証 教務主任としての実績の検証		
第2回学力向上会議 学校評価を実施し、学校の教育目標の達成状況を検証 達成状況を報告		
つまづきを次学年に持ち越させない学年末フォローアップキャンペーン		

4. 目標に沿った成果指標

目標 1

○全国調査・県調査において平均以上をめざします。
特に、国語の学力を向上させます。

「平成25年度 全国学力学習状況調査 小6・中3対象」

教科	平成24年度 結果	平成25年度 目標	平成25年度 結果	平成26年度 目標
小学校国語A	-1.5	±0.0	-2.2	-1.0
小学校国語B	-2.4	-1.0	-1.0(達成)	±0.0
小学校算数A	+1.5	+2.0	+4.1(達成)	+2.0
小学校算数B	-1.5	-1.0	-0.3(達成)	±0.0
中学校国語A	-0.4	±0.0	-2.5	-1.0
中学校国語B	+2.4	+2.0	-3.6	-2.0
中学校数学A	+2.1	+2.0	-1.6	±0.0
中学校数学B	-0.5	±0.0	-3.7	-2.0

◎小学校の3項目において、目標を達成できた。中学校においては厳しい結果となっている。

目標 2

○低学力層の児童・生徒を半減させます。

達成率を高めることを目標にします。

*達成率とは目標値に達した児童生徒の割合です

「基礎基本の定着状況調査 達成率(県比)」

教科	平成24年度 結果	平成25年度 目標	平成25年度 結果	平成26年度 目標
小学校 国語	-4.9	-2.0	-17.3	-2.0
小学校 算数	-3.3	-2.0	-16.6	-2.0
中学校 国語	-3.1	-2.0	+1.0(達成)	+2.0
中学校 数学	+7.2	+5.0	-4.0	±0.0
中学校 英語	-5.2	-2.0	+2.6(達成)	+2.0

◎国の調査と逆で、小学校においては非常に厳しい結果となった。学力の2層化が進んできている。中学校はおおむね目標を達成している。

目標1・2を通して、授業改善および補充学習についてさらに具体的な取組が必要である。